



SOMPOアセットマネジメント

安心・安全・健康のテーマパーク

交付運用報告書

SOMPOスイッチ NASDAQ100 レバレッジ2.5倍

追加型投信／海外／株式

作成対象期間：2022年5月9日～2023年4月20日

第1期 決算日：2023年4月20日



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、スペースⅡリミテッドが発行する円建債券を主要投資対象とし、円建債券から得られるSOMPOスイッチ 戦略（NASDAQ100）のリターンを享受することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、
閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



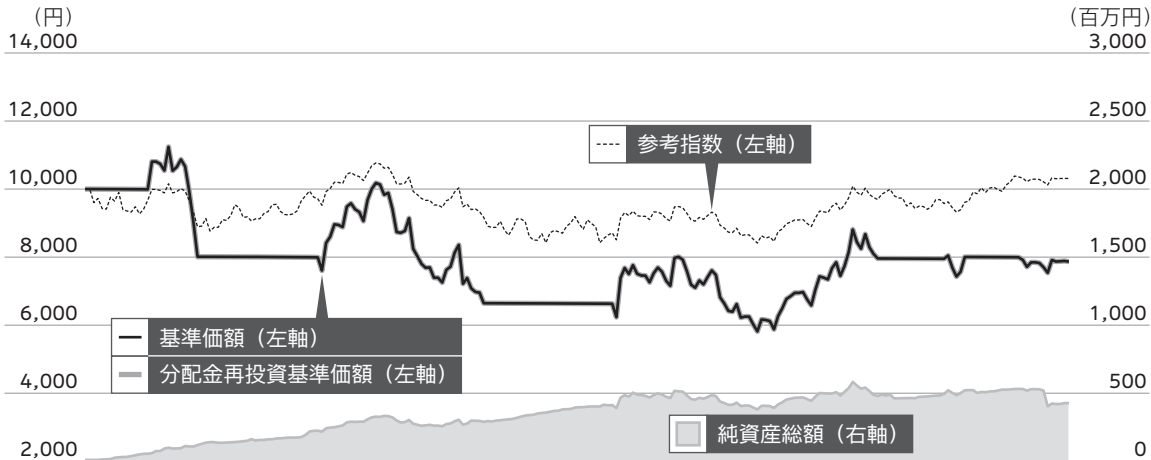
0120-69-5432

第1期末 2023.4.20	
基準価額	7,871円
純資産総額	426百万円
騰落率※	△21.3%
期中分配金合計	0円

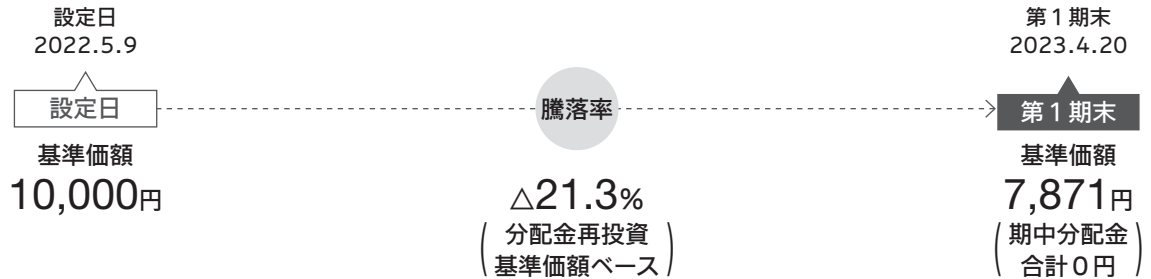
※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

運用経過

● 基準価額の推移



基準価額の推移



- 分配金再投資基準価額および参考指数（NASDAQ100指数（米ドルベース））の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

● 基準価額の主な変動要因

期中の騰落率は－21.3%となりました。

当期は、シグナルの切り替えが効果的に機能せず、基準価額は下落しました。

● 1万口当たりの費用明細

項目	第1期 2022.5.9～2023.4.20		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	56円	0.722%	$(a) \text{ 信託報酬} = \text{期中の平均基準価額} \times \text{信託報酬率 (年率)} \times \frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は7,747円です。
(投信会社)	(27)	(0.345)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(27)	(0.345)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(2)	(0.031)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	10	0.134	$(b) \text{ その他費用} = \frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(9)	(0.121)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.009)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.005)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	66	0.856	

注1．期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

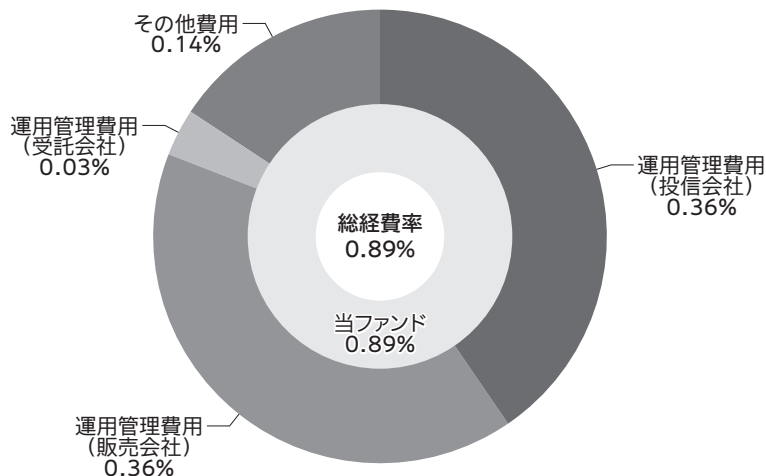
注2．金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3．比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.89%**です。



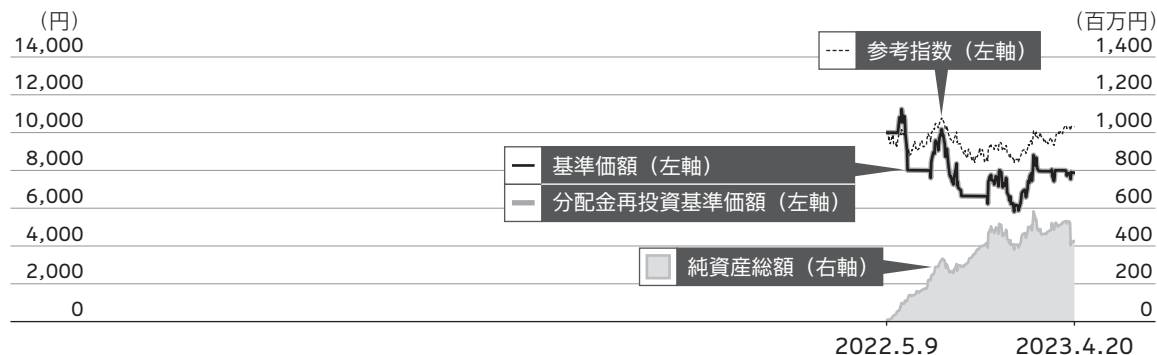
注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移 2018.4.20～2023.4.20



- 分配金再投資基準価額および参考指数（NASDAQ100指数（米ドルベース））の推移は、設定時の基準価額（10,000円）をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

決算日	2022.5.9 設定時	2023.4.20 決算日
基準価額 (円)	10,000	7,871
期中分配金合計（税引前） (円)	—	0
分配金再投資 基準価額騰落率 (%)	—	△ 21.3
参考指数騰落率 (%)	—	3.1
純資産総額 (百万円)	10	426

- 参考指数はNASDAQ100指数（米ドルベース）です。なお、各基準日の参考指数は、基準価額の算出方法に合わせて、各基準日の前日の米ドルベースの値を使用しております。

指数に関する詳細は13ページをご参照ください。▶

● 投資環境

米国株式市場（NASDAQ100指数）は、期を通して、米国のインフレ高進と金融政策の動向に左右される展開となりました。期初から2022年6月中旬にかけて、FOMC（米連邦公開市場委員会）で大幅利上げが決定され景気後退懸念が高まったことから、下落基調で推移しました。続く8月中旬にかけては、大幅利上げへの警戒感が後退しインフレピークアウト期待が高まったことなどから上昇しました。12月末にかけて、FOMCにおいて利上げが決定され、政策金利の見通しが引き上げられたため、景気後退懸念が高まったことなどから下落しました。期末にかけては、世界的に金融不安が広がり、大幅に下落する局面もありましたが、各国の中央銀行による迅速な対応により金融不安が和らぎ、上昇基調で推移しました。

※当ファンドは、Nasdaq, Inc.またはその関連会社（以下、Nasdaq, Inc.およびその関連会社を「Nasdaq社」と総称します。）によって、支援、推奨、販売または販売促進されるものではありません。Nasdaq社は、当ファンドの合法性、適合性、または当ファンドに関する記述および開示の正確性もしくは妥当性について認定するものではありません。Nasdaq社は、当ファンドの保有者または公衆一般のいかなる者に対しても、一般的な証券投資または特に当ファンドへの投資の妥当性、およびNASDAQ-100 Indexの株式市場全般のパフォーマンスへの追従可能性について明示的か黙示的かを問わず、何らの表明もしくは保証も行いません。Nasdaq社とS O M P O アセットマネジメント株式会社の関係は、Nasdaq®、NASDAQ-100 Indexの登録商標およびNasdaq社の一定の商号について使用を許諾すること、ならびにS O M P O アセットマネジメント株式会社または当ファンドとは無関係にNasdaqが決定、構築および算出を行うNASDAQ-100 Indexの使用を許諾することに限られます。Nasdaqは、NASDAQ-100 Indexの決定、構築および算出に関し、S O M P O アセットマネジメント株式会社または当ファンドの保有者の要望を考慮する義務を負いません。Nasdaq社は、当ファンドの発行の時期、価格もしくは数量の決定について、または当ファンドを換金する際の算式の決定もしくは計算について責任を負わず、また関与していません。Nasdaq社は、当ファンドの管理、マーケティングまたは取引に関して責任を負いません。Nasdaq社は、NASDAQ-100 Indexとそれに含まれるデータの正確性および中断のない算出を保証しません。Nasdaq社は、NASDAQ-100 Indexまたはそれに含まれるデータの利用により、S O M P O アセットマネジメント株式会社や当ファンドの保有者、その他いかなる個人または団体に生じた結果についても、明示的か黙示的かを問わず、何らの保証も行いません。Nasdaq社は、明示的か黙示的かを問わず何らの保証も行わず、かつ、NASDAQ-100 Index®またはそれに含まれるデータの利用に関する、商品性または特定の目的もしくは使用への適合性については、いかなる保証も明示的に否認します。上記に限らず、いかなる場合においても、Nasdaq社は、いかなる逸失利益または特別、付随的、懲罰的、間接的もしくは派生的損失について、たとえ当該損失の可能性について通知されていたとしても、一切の責任を負いません。

● 当該投資信託のポートフォリオ

当ファンドは、スペースⅡリミテッドが発行する円建債券の組入比率を高位に保ちました。シグナル消灯時（平常時）はNASDAQ100指数（米ドルベース）に2.5倍程度のレバレッジをかけたリターンの獲得を目指し、シグナル点灯時（市場の下落予想局面）では機動的にNASDAQ100指数のポジションを解消し、市場下落の影響を抑えることを目的とした運用を行いました。

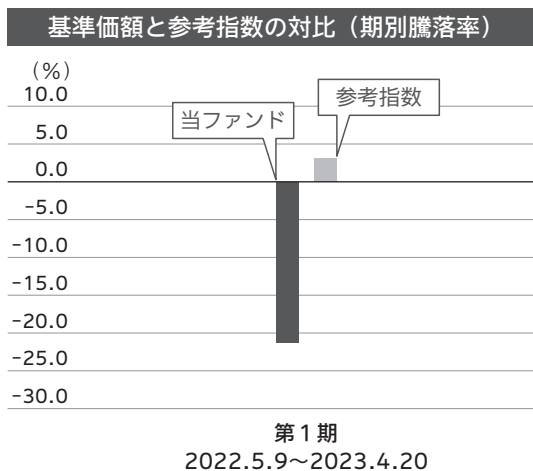


※上記のシグナル点灯期間がファンドの基準価額へ反映するのには遅れが生じます。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

なお、当期における参考指数との対比では、参考指数（NASDAQ100指数（米ドルベース））の騰落率（+3.1%）を24.4%下回りました。



● 分配金

収益分配金については、基準価額水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円、1 万口当たり・税引前)

項目	第 1 期 2022.5.9～2023.4.20
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	124

- 注 1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- 注 2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。
- 注 3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

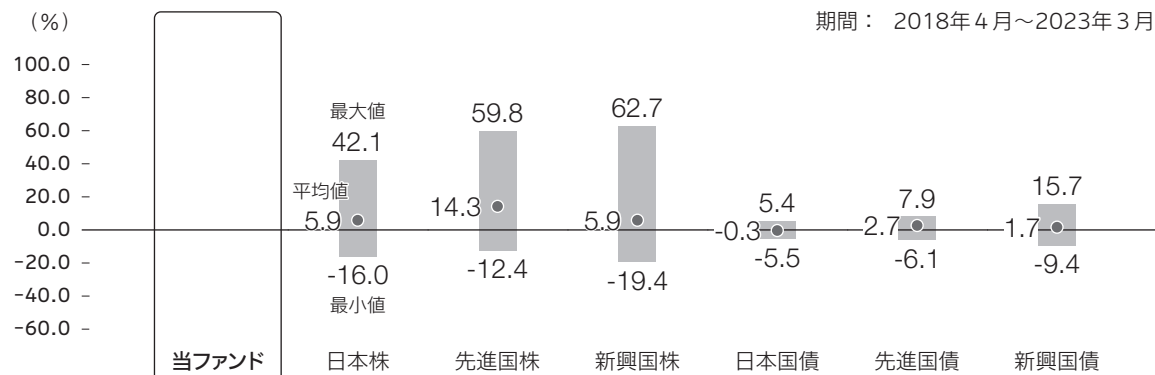
● 今後の運用方針

引き続き、スペースⅡリミテッドが発行する円建債券の組入比率を高位に保ち、円建債券から得られるSOMP Oスイッチ戦略の投資効果の獲得を目指します。

● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2022年5月9日から2032年5月31日まで
運用方針	信託財産の成長を目指します。
主要投資対象	主要投資対象：スペースⅡリミテッドが発行する円建債券
運用方法	① スペースⅡリミテッドが発行する円建債券（以下「円建債券」といいます）を主要投資対象とし、円建債券から得られるSOMP Oスイッチ 戦略（NASDAQ 100）^{※1}のリターンを享受することで、信託財産の成長を目指します。 ※1 平常時は信託財産の純資産総額に対してNASDAQ100指数を2.5倍程度保有する効果により、NASDAQ市場の成長を享受します。但し、市場のダウンサイドリスクが高まったと判断した場合^{※2}は、機動的にNASDAQ100指数のポジションを解消し、市場下落の影響を抑える運用を行います。 ※2 モルガン・スタンレーが開発した投資環境局面を判断するシグナルを用いて判定を行います。 ② 円建債券の組入比率は高位を保つことを基本とします。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



❗ 資料作成時において、当ファンドの運用期間が1年未満のため、当ファンドの年間騰落率を記載しておりません。

* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は13～14ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

● 当該投資信託の組入資産の内容

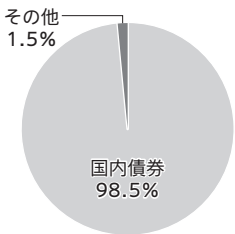
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入上位10銘柄

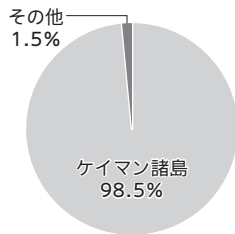
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	SPACE II SERIES 202201 CLASS A	社債券	日本円	ケイマン諸島	98.5%
2	—	—	—	—	—
3	—	—	—	—	—
4	—	—	—	—	—
5	—	—	—	—	—
6	—	—	—	—	—
7	—	—	—	—	—
8	—	—	—	—	—
9	—	—	—	—	—
10	—	—	—	—	—
組入銘柄数			1 銘柄		

注. 比率は第1期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注. 比率は第1期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

当該投資信託の組入資産の内容

● 純資産等

項目	第1期末 2023.4.20
純資産総額	426,791,739円
受益権総口数	542,241,317口
1万口当たり基準価額	7,871円

※ 当期中における追加設定元本額は1,330,144,041円、同解約元本額は797,902,724円です。

● 指数に関して

当ファンドの参考指数である「NASDAQ100指数（米ドルベース）」について

米国のナスダック市場に上場している金融以外のセクターで時価総額の大きい100社で構成される株価指数です。

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて当ファンドの詳細をご案内しております。

SOMPOスイッチ NASDAQ100 レバレッジ2.5倍 検索

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/7073/price.html>



各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

休

海外休業日 (申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。